



はーと なび



社団法人 全国腎臓病協議会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-20-9 巣鴨ファーストビル 3F

2011 年 12 月 27 日発行

TEL:03(5395)2631 FAX:03(5395)2831 E-mail:sougei@zjk.or.jp

北部九州三県合同通院送迎事業研修交流会が開催

福岡県、佐賀県、長崎県の北部九州 3 県合同通院送迎事業研修交流会が、11 月 20 日、佐賀県佐賀市で開催され、全腎協から新藤事務局員が出席しました。研修交流会は今回で 11 回目を迎えます。午前中の研修会は「透析患者における緊急時の対応」をテーマに講演を行い、透析施設副院長の井手氏から腎臓機能と腎不全の説明と、通院送迎時に起こりうる事柄と対処法などについて、事例を基に丁寧に説明していただきました。また、午後からは懇親会が行われ、各事業所の皆様と意見交換を行い、交流を深めました。

研修交流会では、主催者である NPO 法人通院送迎サービスふれあいの富崎副理事長から、「福岡、長崎、佐賀三県の通院送迎に関する情報交換と、ご苦労をおかけしているボランティアさんへの感謝の意を込めた交流会です」との挨拶をいただきました。

なお、全腎協としても、通院送迎事業所の皆様との情報交換を活発にし、安心、安全、安価、継続（安定）した通院送迎ができることを目指し、通院対策に取り組んでいきます。また、来年の研修交流会は福岡県で開催が予定されている、とのことでした。



多摩地域福祉有償運送運営協議会での高齢運転協力者に対する安全運転適正確認の議論について

多摩地域福祉有償運送運営協議会では、タクシー業界代表委員から 70 歳以上の運転協力者に対し安全対策を取る必要があるとの意見が出され、異議が無かったことから、11 月 29 日に開催された特別幹事会にて運行の際に必要な適性チェックを義務化するための表案（運行前 1 週間の健康状態・行動状態と認知機能検査を問診する）が提出されました。この安全対策に対して東京ハンディキャブ連絡会は、多摩地域福祉有償運送運営協議会へ「福祉有償運送はタクシーと違い、長距離・長時間の運転をすることは少なく、利用者は固定の会員であり、慣れた運行に限っている。また、定期的な運行状況の確認や健康診断も行っており、一律のチェック表のような義務付でなく、福祉有償運送を行う各団体の実情にあわせた、安全運行に対する意識を高める形での啓発方法を検討してほしい」との意見書を提出しました。今後も状況と経過を「はーとなび」で報告していく予定です。

多摩地域福祉有償運送運営協議会

HP: <http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=7632>

●埼玉県秩父市における、人工透析患者の送迎サービス事業について

埼玉県秩父市にて、移動困難者の外出支援を伴う移動・移送サービスを提供しているNPO法人アシスト秩父では、独立行政法人福祉医療機構の高齢者・障害者福祉基金の助成を受け、2008年度から福祉有償運送の形態で透析患者の通院送迎輸送サービスを行っています。なお、運行範囲は秩父市内のみで、利用にあたっては入会金と会費をそれぞれ1000円支払って会員登録した後、予約を行い利用します。透析患者を含めた利用会員数は現在250名で、送迎は月～土曜日の透析治療日に対応し、秩父市内の透析施設を8人乗りミニバンを使用して原則ドア・ツー・ドアで行います。運賃は時間制料金で、乗車人数により計算される、とのこと。



アシスト秩父 HP : <http://www4.ocn.ne.jp/~assist/info/touseki.html>

●経済産業省による移送サービスをはじめとする、新たなビジネスモデルへの取り組み

経済産業省は11月15日、医療生活産業の創出に向け、新たなビジネスモデルの構築や異業種間の連携事業の推進の場となる「ヘルスケア産業プラットフォーム」を年度内に立ち上げることを発表しました。通院送迎の事業では、愛知県の愛知県厚生農業協同組合連合会が民間タクシー業者と連携し、山間地域における高齢者や在宅療養者の生活支援の仕組みづくりの一つとなる輸送・配食等のサービスを提供する社会実験が開始されています。

現在は無料の登録をした会員の方について、病院と自宅の間をドア・ツー・ドアで送迎しており、料金は地区別で、片道500円もしくは700円とのこと。今後は買い物などにも利用できるよう、支援を広げる計画があり、他の医療施設では透析患者の送迎も考えているため、「はーとなび」で経過を報告していく予定です。



経済産業省 HP:

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/healthcare_platform/001_haifu.html

●各事業所へのお願い

全腎協では全国の活動状況を把握するために、活動状況の報告をお願いしています。まだご提出いただけていない事業所につきましては、ご多忙の中誠に恐縮ですが、3か月分をまとめてファックス、メール等でお知らせください。よろしくお願いたします。なお、ボランティアの方や利用者の生の声もできるだけ本紙で伝えていきたいと考えています。電話、手紙、ファックス、電子メール、何でも構いませんので事務局担当までお寄せください。

●今年も残すところあとわずかとなりました。各事業所の皆様、1年間本当にありがとうございました。来年、2012年もよろしくお願いいたします！